

総合的な探究の時間の第1の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

学校の教育目標

人間尊重の精神を基盤に、社会の変化に主体的に対応できる、個性的で創造性や国際性に富む、心豊かな人間を育成する。

各学校で定める目標と育成する資質・能力

- (1) 地元や他の地域、他国などを探究する過程を通して、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付ける。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現し、社会の変化に主体的に対応できる力を身につける。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。SDGsの視点を意識し、持続可能な社会の実現のため行動できる。

総合的な探究の時間の学習評価

生徒は、授業ごとに振り返りシートによる自己評価を行う。教員も授業ごとに1つの評価項目を選択しルーブリックによる評価を行う。それらを記録し、年度末に総合的に評価する。

生徒の実態

- ・ 自然豊かな環境で育ち、素直な生徒が多い。しかし、自分から見聞を広めようとするなど主体的に取り組む姿勢が乏しいときがある。
- ・ 多様な生徒が在籍しており、時にコミュニケーションにつまずき、人間関係に悩む生徒がいる。
- ・ 四年制大学進学から就職まで、多岐にわたる進路希望の生徒が同じクラス内に存在している。

生徒の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする生徒への指導

- ・ 共に学び共に育つ理念を共有する教育を行う。
- ・ 一人一人の状態を把握し、一人一人の能力の伸長を図る。
- ・ コミュニケーション及び人との関わりを広げる工夫を行う。

目指す生徒の姿

- ・ 主体的に物事に取り組み、発言や行動に自信を持てる生徒。
- ・ 他者とコミュニケーションを円滑に行い、協力・協働しながらお互いを高めあえる生徒。
- ・ 地域を愛し、地域に貢献することができる生徒。
- ・ 主体的に希望進路を考え、実現する生徒。

各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力

- ① 知識および技能
・ 幅広い教養と世界・社会の状況の変化やその課題を解決するための知識や思考ツールの使い方。
- ② 思考・判断・表現
・ 物事を論理的に考え、批判的思考で掘り下げ新しい価値を生み出す力。
・ 社会と自己との関わりから課題を立て、情報を集め、整理・分析し、レポートやスライド、動画等にまとめ表現できる力。
・ 思考、判断の結果や経過を他者へ発信することができる。また、他者の共感を引き出す力。
- ③ 学びに向かう力、人間性など
・ 他者との関係性の中で、自ら行動することができる力。
・ 自分の行動を振り返り、常に改善しようとする意識を持ち、粘り強く次の行動につなげることができる力。
・ 志をもって将来の生き方を考え、社会の現実を踏まえながら前向きに自己の将来を設計することができる力。
・ 社会を支える主権者としての意識をもち、地域や国内外の未来を真剣に考えることができる力。

学習活動、指導方法等

- 1年生 総合的な探究の時間（「道徳」を含む）
「自身や社会、地域、世界を知る」～大子町から世界を考える～
(1) 自己分析を行い今後の進路について考える。
(2) 地域の魅力と課題について考える。
(3) 文化祭を盛り上げることで母校へ貢献する心を養う。
- 2年生 だいが未来探究
「地域と社会との関係を考える」～社会問題を考える～
(1) 修学旅行先の魅力や課題を考える。
(2) 地域の課題を発見し、課題解決のため探究を行う。
- 3年生 未来探究
「自分の進路を開拓する」～なりたい自分になる～
(1) 自分の能力・適正にあった具体的な進路を明確にし、進路希望を実現させる。
(2) 卒業後、社会人として生活する上で必要なこと知る。

指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）

- (1) 地域との連携：大子町からの支援やボランティア活動など地域の方々との交流を通して、教育内容と教育活動に必要な人的・物的資源等、地域の外部資源を有効に活用し、地域に開かれた教育活動の実現を目指す。
- (2) 指導体制の充実：各教科等で身につけた知識を横断的に活用することを学び、実生活において活用できる力を身につけ未来を切り開く能力を育成する。また、ICTを活用するとともに、学校図書館の充実を図る。
- (3) 外部講師：本校卒業生などによる講演会等を行う。